

いわた羅針盤

ら しん ばん

2025年
5月号
5/1発行

No.100

令和7年2月定例会



特

集

産業振興による市街地の活性化

CONTENTS

- P2 特集 産業振興による市街地の活性化
- P4 2月定例会議案審議
- P8 委員会審査
- P11 一般質問（8人）
- P16 ご意見紹介
- P17 トピックス
- P18 インフォメーション
- P20 審議結果ほか

特集 産業振興による市街地の活性化

市議会建設産業委員会では、市の特色や産業の強みを最大限に生かした取組を行うことで、市街地に新たな人の流れと経済活動を生み出すことができ、市街地が活性化するのではないかと考えて、調査・研究を進めてきました。特色ある産業を活かした市街地の活性化について、まちおこしや産業・学術の分野で活躍されている方に、市と共創できる事業等のお話をお聴きしました。
(取材日：令和7年2月23日) (聴き手：市議会建設産業委員会 戸塚邦彦委員長・八木義弘副委員長)



静岡県立農林環境専門職大学
生産環境経営学部 准教授

辻志保さん



天龍社織物工業協同組合
理事長

安間政雄さん



NPO法人いわたタウンマネジメント
代表

大石徹さん

——本市の市街地の印象をお聞かせください。

辻 6年の春に、大学の赴任で磐田市に生まれました。初めて磐田駅を降りたときに見えた大きなクスノキは、今も強く印象に残っています。また、見付の「カボチャ食堂」の皆さんに誘われて見学した旧見付学校は、ちょうど桜が満開の中でライトアップされていて、とても素敵でした。カボチャ食堂の皆さんが楽しんでいる雰囲気も魅力的で、このようなまちにある大学でこれから仕事ができることにワクワクしました。国分寺や旧赤松家など歴史あるまちであり、これ以外にも本当にいろいろあつて、外から来る人を楽しませるものにも事欠かないまちだと感じています。

安間 私は生まれも育ちも福田ですが、大型スーパーマーケットやドラッグストアの新店で、車を利用した買い物は大変便利になりました。その反面、市街地にあった商店は、駐車場の確保や後継者等の問題で廃業している所もありま

いをもって、県内外に広めてほしいと思います。また、愛知県の農業用水では、通水が無い時期に水路の中を歩くイベントを行っている人気があります。世界かんがい施設遺産に登録された寺谷用水でもできたらいいですね。

大石 スポーツのまちだと全国的に思われていますが、サッカーやラグビー、その他いろいろ大会で磐田市に来る方がいても、その後の観光とかに結び付いていないと感じます。徳川家康に関する話ものが磐田市は多いので、このようなものをいろいろ活かせたらいいなと思います。

——市議会や行政に期待することをお聞かせください。

辻 磐田市に来て、本当に魅力的なコト・モノがあふれていると感じています。そのひとつひとつに足を運ぶ機会を作り、体験したことを発信してくれるファンを増やしてほしいと思います。

大石 団体や行政では、各地でいろいろな事を行っているので、そ

す。人の流れが変わり、以前のよくな商店街の賑わいがなくなってしまうと思います。

大石 区画整理や磐田駅前の再開発でマンションが2棟できて、人が住む市街地としては、きれいなっているのではないかと思います。ただ、商店街は大型ショッピングセンターができた影響で、個人で商売している方が廃業してしまっています。

——本市の産業、特産品を活かした事業の取組がありましたらお聞かせください。

大石 NPO法人では、メンバーが農家に生産してもらったサツマイモを干し芋や焼き芋にして、イベント等で販売しています。

安間 福田地区は織物の一大産地なので、天龍社の敷地内で「機音マーケット」を年2回を目標に開催しています。機音マーケットでは、キッチンカーやメダカすくい、コーデロイハウスを開放して生地やグッズの販売、手機織機による織りの体験でコースター

れを取りまとめ情報発信等を行ってほしいです。また、磐田駅前空き店舗がありますが、個別に貸借をお願いしても貸していただけません。行政が橋渡しをして、新たな出店を促していただきたいです。

安間 コーデロイを含めた遠州織物を販売できるイベントや会場を紹介していただきたいです。また、中学生を対象にした職場体験で製品の販売、機織りや糸つなぎ、若しくは織布工場の見学を行っています。多くの子どもたちにとってこういった体験が出来る機会を作ってもらいたいです。

——特産物や観光資源など、市街地を活性化する素材が市内各地に沢山存在していると気づかれました。これらをつなぎ、市をPRしてくれるファンを増やすことが市街地活性化につながると、取材を通して感じました。

※役職名は、取材日時点のものです。
※実習の日程は大学へお問い合わせください。

わい。



作りを行っています。加えて、静岡県繊維協会主催で「綿の産地フェア」をアミューズ豊田や浜松駅北口のソラモで開催していて、天龍社も出店し遠州織物の生地や製品を販売しています。

辻 大学祭では、当日の朝、たくさんの方が大学で栽培した野菜を買いに校門で並んでいらっしやいました。また、授業のある期間は食堂を

一般にも開放していて、地域の方が散歩がてら昼に学食を食べに来られる機会もあると思います。また、大学祭や市内のイベントでもコーデロイのグッズ等の販売を通して、遠州織物の産地をPRしていきたいです。過去に行っていた磐田駅北口でのファッションショーも、復活してほしいです。

辻 大学・短大ともに1年生は全寮制ですので、学生がこのまちで暮らし、地域と交流し磐田市のことをもっと知ってもらおう体験をして、卒業後に第二の故郷という思

ます。また、授業時間ですが、実習の一環として野菜を販売しています。大学のことをもっと知っていただき、大学の外でも地域の方々と協力してできることがあるといいなと考えています。

——産業の特産品や観光を活かした市街地活性化の施策について、新たに共創できる事業などご意見をお聞かせください。

安間 機音マーケット開催をきっかけに、コーデロイハウスを当産地のアンテナショップとして、遠州織物の良さを発信していきたいと思っています。また、大学祭や市内のイベントでもコーデロイのグッズ等の販売を通して、遠州織物の産地をPRしていきたいです。過去に行っていた磐田駅北口でのファッションショーも、復活してほしいです。

辻 大学・短大ともに1年生は全寮制ですので、学生がこのまちで暮らし、地域と交流し磐田市のことをもっと知ってもらおう体験をして、卒業後に第二の故郷という思


令和7年
2月
定例会

議案審議

会期 2月14日～3月24日 (39日間)

2月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。
質疑や討論は内容を要約して掲載しています。
詳しくは、インターネットの録画映像でご覧いただけます。

磐田市議会 配信 検索 クリック



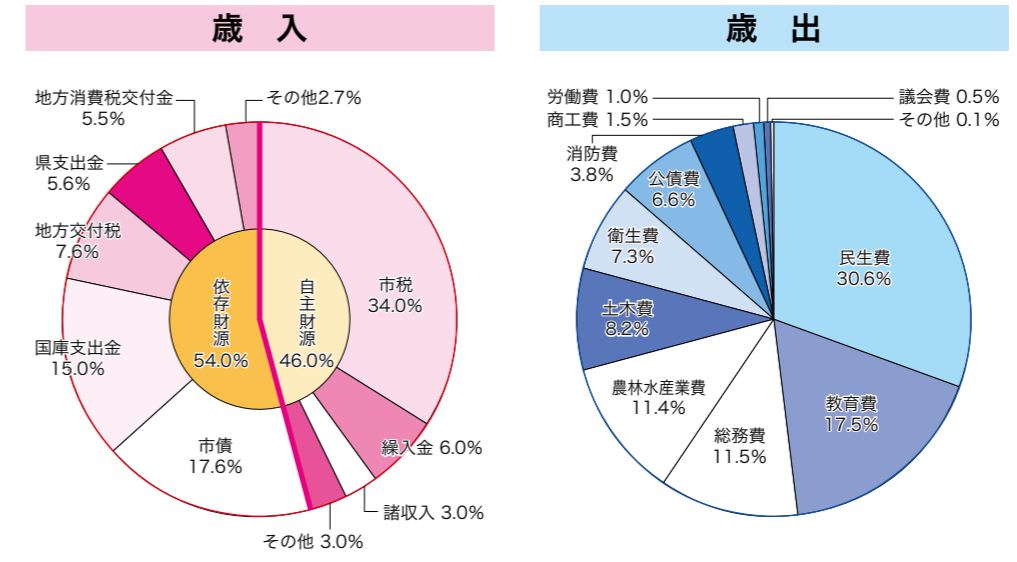
7年度各会計予算などを審議

2月定例会では、一般会計をはじめとした7年度各会計予算など、一般議案40件、人事議案2件のほか、議員発議の条例3件・規則2件・意見書1件を審議しました。

なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

会派名の表記(人数)
※7年3月24日現在
「志」 志政会(8)
「せ」 せいわ会(6)
「新」 新磐田(3)
「共」 日本共産党磐田市議団(2)
「公」 公明党磐田(2)
「創」 市民と創る磐田(2)
「愛」 愛和(1)
「力」 磐田の底力(1)

【7年度一般会計予算額】 869億7,000万円



※四捨五入による端数処理のため、各区分の数値を合計した場合、合計欄の数値と一致しない場合があります。

7年度当初予算「4つの重点戦略」

- 地域経済活性化の「共創」**
 - スタートアップ企業と市内企業とのマッチングによる地域産業の活性化
 - 新たな特産物(レモン)の産地化への支援
- 子育て・学びの環境の「共創」**
 - こどもの権利啓発と意見反映の取組み
 - プレパパママ教室の実施
 - 公立こども園の預かり保育を利用する園児への給食提供
 - 放課後児童クラブの民間委託化
 - 学校体育館に空調設備を設置
 - 富士見小学校増築に向けた実施設計
- 緑とにぎわいの「共創」**
 - 緑の基本計画を策定
 - 民間団体が実施する本市の新たな魅力創出事業を支援
 - 地域おこし協力隊を活用した課題解決
 - (仮称)移住定住コーディネーターの設置
 - かぶと塚公園内陸上競技場 26年ぶりの大規模改修
 - 展示施設整備による文化ゾーンの拡充
- 共創で盛り上げる市制20周年**
 - こどもの職業体験事業(アウト オブ キッズニア)
 - 駅周辺の街路樹整備

7年度一般会計予算は、6年度当初予算に比べ17.1%増の869億7千万円となりました。海岸堤防や向陽学府小中一併校整備の推進に加え、小中学校体育館の空調設置、消防庁舎の建設事業などで大幅に増額になることや、児童手当など扶助費の増額、物価高騰に伴う経済対策事業により、過去最大の予算規模となりました。

(賛成・志・せ・新・共・公・創・愛 反対・力)

議案第8号
7年度一般会計予算
賛成多数で可決

一般会計予算に対する討論がありました

反対

物価高騰に苦しむ市民に 経済的な恩恵が乏しい予算

7年度予算は、物価高騰で苦しむ市民の生活を豊かにする予算とすべきだが、市民への経済的な恩恵がないと感じる。「安心できるまち、人が集まる磐田市」に関して、目標の数値化ができておらず、何を以て判断すべきかわからない。ふるさと納税の寄附金額の数値設定に、大きな疑問を感じる。陸上競技場の大規模改修は、市内スポーツ施設等の見直しを検討される中、この時期に約6億3000万円の税金投入の必要性に疑問を感じる。向陽学府一併校整備は、交流センターや支所の配置や在り方も考えた上で決めるべきで、小中一併校化だけを進めているのは、行政の効率化を考えると疑問がある。海岸堤防の整備計画は、総額202億円を投入とのことなので、沿岸部への人の誘導や地価対策も同時に行うべきであり、計画には賛成できるが、その経済的な効果の曖昧さに疑問が残る。

磐田の底力 柏木 健 議員

賛成

市民のくらしを守る 市政・市民の要望に応えた予算

災害に強いまちづくりとして、海岸堤防の整備促進、浸水被害の軽減対策が予算に上られている。避難施設にもなる小中学校体育館の空調設備設置は、児童・生徒の安全を確保し、指定避難所の環境改善を図ることに繋がる。市民の要望には、磐田北小学校の整備調査や富士見小学校の増築設計、戦後80年記念イベントや平和啓発ミニブックの作成、補聴器購入費助成の拡充が予算化されている。ただし、向陽学府小中一併校は、子どもたちの安全な通学と充実した教育を求める。放課後児童クラブ民間委託化は、サービスの質に差が出ないよう、児童が安全に安心して過ごせる環境整備を求める。学びと対話を進め、住民の声に引き合い市政運営を行ってきたことは民主主義の基本であり、職員にもその姿勢が見える。市民の暮らしを支える施策を今後も進めてもらいたい。

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

賛成

持続可能なまちの実現に向けた 将来の基礎を築くための投資予算

4つの重点戦略として、地域経済活性化の共創では、誰もが活躍でき安心して働き暮らせるまちづくりが図られ、子育て・学びの環境の共創では、未来を担う子どもたちの成長を支える事業の取組がなされる。緑とにぎわいの共創では、にぎわいと魅力あふれるまちを目指し、共創で盛り上げる市制20周年では、記念式典やアウトオブキッズニア等、市民との一体感や地域への関心・愛着の醸成が図られる。带状疱疹ワクチン定期接種や1か月児健康審査の公費負担開始、戦後80年記念事業など、7年度に盛り込まれた各種事業に将来を見据えて取り組むことで、「安心できるまち、人が集まる磐田市」に向かっていくと考える。引き続き、市民が幸せと誇りを実感できる、将来に希望が持てる持続可能なまちの実現に向けて、多くの市民と一緒に創る「共創」の実現を期待する。

公明党磐田 江塚 学 議員

賛成

市民の安全を守り、1人ひとりが 安心して毎日を暮らせる予算

最終年度を迎える合併特例債を活用し、海岸堤防整備、公共施設老朽化への対応を積極的に行う予算で、未来の「安心できるまち、人が集まる磐田市」に向けた対応に向けて、新たに治水対策推進室を設置し、ものづくりとスポーツのまちに向けて、いわた産業イノベーションによる企業のマッチングやスポーツプラットフォームの充実に取り組み、子育て・教育のまちに向けて、プレパパママ教室等の実施、自然と歴史・文化のまちに向けて、グリーンインフラの整備など、市民が恩恵を受けられる予算となっている。市民や団体、市内外の人たちとの交流の機会創出を図るなど、市制20周年を共に祝い盛り上げていくとともに、市民1人ひとりが自分の住むまちを想い、地域づくりに参画し、幸せと誇りを実感できるまちに近づけることを期待する。

志政会 秋山勝則 議員

7年度国民健康保険事業特別会計予算

賛成多数で可決

予算の総額は、6年度に比べ2.7%増の152億8702万6千円となりました。保険給付費、国民健康保険事業費納付金や保健事業費など、国民健康保険事業に必要な経費を計上したもので、主な財源は、保険税、県からの交付金や一般会計及び国民健康保険事業基金からの繰入金です。

(賛成：志・せ・新・公・創・愛・力 反対：共)

本会議での主な質疑

問 保険料水準の統一に向けて、7年度の市の取り組みべき課題は。

答 静岡県国民健康保険運営方針に沿って、本市国保財政の検証を進め、国民健康保険事業の運営に関する協議会の意見を伺いながら、8年度以降の税率改定に向けた準備を進める。

問 県内の保険料と税率の見直し、賦課方式の改定状況は。

答 5年度決算における県内市町の一人あたり保険税額状況に当てはめると、7年度予算額では、35市町中、税額が高い方から22番目になる見込みである。改定状況は、7年2月上旬の調査結果では、7年度の税率改定は、本市を含む10市町が予定している。また、賦課方式は、6年度に本市を含めた3市で資産割を賦課しているが、7年度は1市が引き下げを行う予定である。

討論がありました

反対 自治体独自の公費繰入は可能

被保険者一人あたり年額で平均約2800円の値上げとなる。物価高騰の中で、市民の暮らしを直撃する保険料の引上げではなく、国庫負担の引上げ、市独自の子ども均等割の減免措置の拡充が必要と考える。
日本共産党磐田市議団 根津康広議員

賛成 国民皆保険制度の最後の砦

実際に加入している、被保険者世帯・被保険者数が減少しているとはいえ、自営業者や職場の退職者が後期高齢者医療制度に加入する間をつなぐ保険事業でもあり、市民生活の中で、大変重要な事業予算と考える。
せいわ会 鈴木正人議員

6年度磐田市一般会計補正予算(第14号)

全会一致で可決

この補正予算は、一般会計補正予算第13号の補正後の額から、歳入歳出予算それぞれ2億6009万9千円を減額し、総額を783億5357万7千円とするものです。

補正予算の主な内容

● 普通交付税の増額や、職員退職手当の増額をはじめとした、各科目の決算見込み等を予算額に反映させるための精算

● 電気料金等の高騰に係る、指定管理委託料や病院事業会計負担金の増額、国民健康保険事業基金への積立を目的とした、国民健康保険事業特別会計への繰出金の増額

問 道の路橋梁災害復旧事業において、工事請負費の増額要因とされる、工法が変更となった経緯は。

答 4年の台風第15号により被災した下田橋の災害復旧工事において、護岸施工時の堤防内部の土質が想定より軟弱な土質であることに加え、堤防のり面や掘削面からの湧水が確認されたため、当初のブロック積み工法から矢板基礎とブロック積み合わせた工法に変更する必要が生じたため、増額となった。

「公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書」を国に提出

全会一致で可決

市議会は、公立の義務教育諸学校における適正な教員数を維持確保することを目的に、国に対して具体的な取組を求めるため、公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書を提出しました。

(意見書提出先) 内閣総理大臣、文部科学大臣、衆・参議院議長

公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書

令和2年に改正された「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の附帯決議に基づき文部科学省が実施した教員勤務実態調査によると、教員の長時間勤務について一定程度の改善は見られるものの、依然として歯止めがかからない状況にあり、時間外勤務の削減や業務量の軽減など働き方改革のさらなる推進が求められる。また、教員のそうした職場環境等が影響し、平成12年度に13.3倍であった全国の教員の採用倍率は、令和5年度は3.4倍と年々低下している。

このように、教員不足が全国的な問題となる中、静岡県内では、定数未配置の学校が存在し、磐田市内においても配置の厳しい状況であり、教員の人材確保は喫緊の課題である。とりわけ、今後の教育界を支える志ある優れた人材を確保していく必要がある。そのためには教員の働き方改革等を進め、子供たちが教員の仕事に魅力を感じるようにする必要

がある。よって、国においては、公立の義務教育諸学校の適正教員数を維持・確保していくため、次の事項に取り組むよう強く要望する。

記

- 業務内容の見直しや校務のDX等による業務効率化を進めるなど、さらなる働き方改革の推進を強力に支援すること。
- 時間外勤務を抑制するための法整備を進めるとともに、働きに見合った給与の引上げを速やかに行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

予算決算委員会

■委員長：芥川栄人 ■委員：議長を除く全議員
■副委員長：高梨俊弘

7年度一般会計予算

〔歳入15款 国庫支出金〕

問 物価高騰対応重点支援地方創臨時交付金の充当先の内容は。

答 予算計上した約5億7000万円のうち、定額減税補足給付金分が約5億2000万円で、それ以外は、給食の食料費高騰分などである。国が示した限度額に対する残り約1億4000万円は、当初予算には計上しておらず、今後の経済情勢などの実情に応じて、補正予算で対応し活用していく。

〔歳出2款 総務管理費〕

問 クラウドファンディング支援制度の仕組みは。

答 地域活性化に資する事業を行う団体等に対し、市が審査して認めた事業を応援するために、事業ごとに市がクラウドファンディングで寄附を集めて補助する制度である。寄附金が目標額に達しなくても、事業を実施することを要件に、収支計画等を審査して、事業を選定し、募集していく。

歳入で、寄附金1億2000万円、歳出では、経費として6000万円、補助金が6000万円で、寄附金は、目標額に達したら募集を終了する。

問 自主防災組織への支援の内容は。

答 知識面の普及では、避難所環境の指標であるスフィア基準などを、研修で伝えていきたい。設備面では、自治会に配備している可搬ポンプの修理・更新の支援をしていく。

問 かぶと塚公園陸上競技場の大規模改修の経緯は。

答 これまでは部分的な補修で対応してきたが、地面が陥没し、一部使用できないコースもあるなど、老朽化による劣化が非常に激しい状態であり、利用者の安全確保のため、早期の改修が必要と判断した。利用できなくなる半年間は、市内の体育施設を利用していただくよう、関係者の方には、概ね理解をいただいている。



かぶと塚公園陸上競技場

〔歳出3款 民生費〕

問 長寿祝い金事業の見直しの検討は。

答 対象年齢や金額面で、見直しをする必要がある事業と考えている。7年度にアンケート調査を行い、意見を聞きながら、見直しを含め検討していく。

問 発達障害等支援事業での運営体制は。

答 医師の相談を、現在の1名から2名に増員する予定で、医師を増やすことにより相談回数が増え、早期支援が必要な方に、療育や支援につなげられる体制を考えている。

〔歳出4款 衛生費〕

問 医療救護体制の整備内容は。

答 6年度に医療救護の見直しを図り、7年度に3か所の病院前へ新たに、救護所を設置する計画である。備品は、新たな救護所に置く発電機の購入を考えている。資機材は、救護所を立ち上げたときに、人が対応をするための医薬品などである。

〔歳出5款 労働費〕

問 地域雇用支援事業で、どのような業種で人材不足が深刻化しているのか。

答 業種の特定はできないが、製造業に対する人材不足は全体的にある。県内のUターン率は約33%で、推定3100人ぐらいが戻ってきている。

〔歳出6款 農林水産費〕

問 海岸堤防整備事業の事業費の内容は。

答 6年度までで約98億円、7年度と8年度で104億円、総事業費202億円となる見込みである。市債の内訳は、

合併特例債約46億円、緊急自然災害対策事業債約17億5000万円の見込みである。



海岸防潮堤

問 防潮堤完成後の沿岸部活性化の取組は。

答 6年度に沿岸部の産業用地の可能性調査を進めており、産業用地を確保して企業誘致につなげていきたい。

〔歳出7款 商工費〕

問 企業誘致を進めると人手不足になる心配があるが、その対策は。

答 今後は、海外人材の確保も調査・研究していく。企業誘致の考えについては、次世代産業や陸上養殖、オフィス誘致を含め、全ての産業の企

業誘致を進めたいと考えている。

〔歳出8款 土木費〕

問 福祉のまちづくり歩道改良事業における工事請負費の内容は。

答 平成24年度から、iプラザ周辺など、特に高齢者が使われる歩道について整備を進めている。全体の進捗率は約40%で、毎年約50mの改良を行っている。

〔歳出9款 消防費〕

問 山林火災のような、大規模火災に備えた、今後の消防機材の整備と対応は。

答 消防車両は、「消防力の整備指針」に基づき、適正に配備する。水槽付き消防車、化学車、その他の資機材を保有しており、大規模火災にも対応していくことになる。



〔歳出10款 教育費〕

問 新たな学校づくり整備事業で、磐田北小学校整備基本構想の委託内容は。

答 敷地に埋蔵文化財の制約があるため、建て替えが可能か、文化財調査を中心に3か年で方向性をまとめる想定で、見付交流センターの土地も含め、構想づくりを考えている。



〔議案全体〕

問 公共施設見直しの方向性は。

答 学府単位で、公共施設の複合化などの計画策定を検討し、7年度中に学府全てではないが、時間をかけて丁寧に行っていく。市として、検討した後に、住民の皆様と話し合いをしていきたいと、考えている。

7年度磐田市後期高齢者医療事業特別会計予算

問 保険料に対し、予算総額の増額理由は。

答 団塊の世代の方たちが75歳になり、新たに後期高齢者になる方の割合が増えている。また、給与所得者が少し増え、1人当たりの所得が少し伸びている傾向にあり、1人当たりの保険料の金額も増える想定をしている。

7年度介護保険事業特別会計予算

問 保険料に対し、滞納での給付制限は。

答 給付制限を受けている間に介護サービスが使えないわけではなく、通常介護サービスの場合は、自己負担が1割か2割又は3割の負担割合になっているが、給付制限期間中は1割・2割負担の方が3割、3割負担の方が4割と、自己負担の割合が増えることになり、サービス自体は使える。

市政を問う

一般質問

要旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。2月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像をご覧ください。

磐田市議会 配信

検索

自然を守る取組について／交通安全対策について

市民と創る磐田 山下千賀子 議員



自然を守る取組

問 今後の森林整備方針は。

答 倒木のさらなる流出を防ぐため、危険木の除去や無人ヘリによる森林計測を行っていく。河川に流出するおそれのある倒木や林道機能に支障を来す危険木について、森林環境専門職大学などの専門的知見をいただきながら、森林環境譲与税を活用し除去していく。

問 森林整備の取組状況と人材育成の考えは。

答 森林環境譲与税を有効に活用し、担い手となる人材の育成・確保に取り組んでいきたい。様々な事例や森林経営管理制度等の森林整備に関する仕組みについて、広く知っていたため、セミナー開催や、森林で実際に活動を行う機会を積極的に創出していきたいと考えている。

問 森林活用につながる地域づくりとしての将来的な方向性は。

答 農山村地域における自然とともに暮らすの魅力発信し、災害に強くにぎわい



総務委員会

■委員長：小柳貴臣 ■委員：平田直巳、秋山勝則、小栗宏之、芥川栄人
■副委員長：江塚学 ■副委員長：松野正比呂、高梨俊弘

税条例の一部改正

議案の内容

●入湯税について、市民、観光客など利用者の費用負担を軽減することにより、地域の観光資源である鉱泉施設の利用を促進するため、7年度から9年度までの3年間、鉱泉浴場における入湯に対して、入湯客に入湯税を課さない特例を設けるもの。

問 入湯税を課さない期間を時限的に3年間とした理由と影響額、対象事業者数は。

答 昨今の物価上昇の状況から、利用者の負担軽減を考えた。継続的に行うことは考えず、3年間とした。歳入への影響額は、過去の実績から、多くても、年額400万円程度と考えている。対象施設は、1施設のみである。



民生教育委員会

■委員長：鳥居節夫 ■委員：本間昭男、山下千賀子、永田隆幸
■副委員長：鈴木正人 ■副委員長：芦川和美、根津康広、岡 貴

こどもの権利と笑顔約束条例の制定

議案の内容

●本市に関わる全ての人が、こどもの権利に対する理解を深め尊重することで、「こどもが心から安心して生活でき、取り巻く全ての世代の人が幸せを実感できるまち」を実現するため、基本理念、こどもの権利、市の責務及び市民等の役割などを定める条例を制定するもの。

問 条例をつくる必要性は。

答 世界的な子どもの権利条約があるが、こどもの権利が守られている状態ではなく、5年4月に基本法が施行された。その流れを受け、本市も同じように権利が守られていない状況があり、県内3番目となるが、条例を制定し、進めていく考えである。

問 市民等への周知方法は。

答 周知は、広報・LINEやインスタグラム等のSNSを活用し発信する。また、商工会議所、商工会、民生委員・児童委員や地域づくり協議会

等の組織・団体から行っていく。内容は、丁寧な説明を加えた解説資料やこども向けのパンフレットを作成予定で、5月5日こどもの日に啓発イベントも企画している。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

議案の内容

●国が規定する家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、食事の提供の特例に係る基準を変更するもの。

問 栄養士免許の取得が不要となった理由は。

答 栄養士法が改正され、栄養士の養成施設の卒業者については栄養士の資格を取得していなくても受験することができ、合格した場合に管理栄養士となることができる。



建設産業委員会

■委員長：戸塚邦彦 ■委員：加藤公人、柏木健、鈴木弥栄子
■副委員長：八木義弘 ■副委員長：小池和広、加藤文重、寺田幹根

市道の路線変更

議案の内容

●用途変更による見付364号線、及び民間事業者の一体利用に伴う掛塚139号線、掛塚144号線の終点を変更するもの。

問 市道に認定された場合、道路交通法など新たに制約を受けることになるのか。

答 市道に認定されることで、道路交通法の適用を受けることになる。したがって、警察の取締り対象の道路になる。



見付 364 号線

のある森林づくりに向けた取組を展開していきたいと考えている。

交通安全対策

問 市内で多発した交通事故の総括と今後の予防策は。

答 県の警報に引き続き、12年ぶりに市独自の交通事故死亡事故多発警報を発令するなどして、警察や交通安全協会、自治会連合会などの関係機関とともに交通事故防止に努めた。今後も、関係機関と連携して交通事故の防止に向けて啓発活動を行うとともに、事故の現場検証などを実施する中で道路などに問題が見つかった場合には速やかに改修を実施することで、事故防止に努めていく。

職場としての磐田市役所について／新規採用職員と外部の人材について



問
答

磐田の底力 柏木 健 議員



職場としての磐田市役所

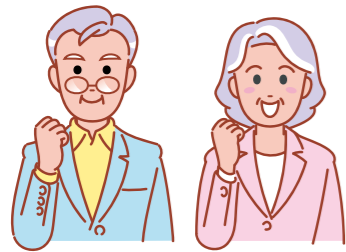
問 市のトップとして考えている職場としての市役所像について伺う。

答 多様な職員が活発に意見を発信し合い、学びを深め合いながら、失敗を恐れずチャレンジできる職場が、目指すべき市役所像であると考えている。市や市民のために汗を流せる職場であることをやりにくいと感じ、自ら学び考え行動できる多くの自律型職員が「安心できる市役所」のために力を発揮できる職場となるよう、継続して努めていく。

新規採用職員と外部の人材

問 市職員の給与はラスパイルズ指数が県内で低い方だと認識しているが、優秀な人材確保をどのように考えているのか、市の見解を伺う。

答 人事院勧告によって初任給は大きく上昇しているが、大企業を中心とした民間の上昇幅の方が大きい傾向にあり、影響は少なからずあると考えている。市役所の職場としての魅力を発信するなど積極的



スポーツのまちづくりについて／今後の移動支援の拡充について／公立幼稚園、保育園、こども園の給食について



問
答

愛和 芦川和美 議員



スポーツのまちづくり

問 まちづくりにスポーツを取り入れた本市の魅力発信や回遊の仕組みは。

答 いわたスポーツプラットフォームを7年1月に立ち上げた。民間の力を活用しながら、市内への回遊の仕組みづくりを検討していく。

問 スポーツコミッション設立の考えは。

答 いわたスポーツプラットフォームで対話・連携し、地域の活性化や交流人口の拡大にも取り組んでいきたいので、その運用に注力したい。

今後の移動支援の拡充

問 デマンド型乗合タクシーの現状と課題、今後の改善は。

答 交通弱者の移動手段の一つとして定着してきていると認識している。収支率が当初の想定を下回っているため、利便性の向上とともに、運賃改定も議論を深めていきたい。

問 ライドシェアの導入は。

答 国の制度も日々更新されていることから、引き続き近隣市と連携し、導入を研究し



大規模災害時の避難所運営について／官民連携による行政施策推進について



問
答

せいわ会 本間昭男 議員



大規模災害時の避難所運営

問 避難所運営マニュアルの実行上の課題や支援体制は。

答 自治会役員の交代で、運営のノウハウが蓄積できないことが課題である。市では避難所ごとに職員を配置し、平時から訓練の支援だけでなく、自治会役員と顔の見える関係を築いている。マニュアルの周知や改定に加え、防災講座や啓発を継続していきたい。

問 避難所での要支援者への支援体制の現状と課題は。

答 一般の避難所では、巡回等で健康支援を実施するが、きめ細かな支援に課題がある。福祉避難所では、福祉施設の専門職の協力が得られるが、避難生活が長期化した場合に専門職員の不足が懸念される。



問 スフィア基準が注目されているが、避難所の生活環境改善への取組は。

答 スフィア基準の理念を考慮しながら、トイレに加え、簡易ベッド等を計画的に整備していく。課題は、被害想定数の避難者数に対し、居住スペース等の確保には、物理的限界があることである。

官民連携による行政施策推進

問 ガバメントクラウドファンディングの今後の展開の可能性は。

答 新たな財源確保に有効な手段と認識しており、地方創生に資する事業に幅広く活用できるように、7年度からの運用開始に向け取り組んでいく。

問 ソーシャル・インパクト・ボンド活用状況と可能性は。

答 行政・投資家・サービス提供事業者の間に中間支援組織をつくる必要があり、運用の仕組みも複雑であるため、現段階では活用の検討に至っていないが、まずは調査・研究をしていきたい。

市の諸課題／教育の諸課題／環境にやさしいまちづくり



問
答

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員



市の諸課題

問 市の物価高騰対策は。

答 7年度も学校給食食料費高騰分の市費負担を実施していきたい。今後も、物価高騰に伴う市民生活への影響や国や近隣市の動向を注視し、幅広い視点から効果的な対策を検討していきたい。

問 市は照明のLED化を進めているが、市内の公共施設の取替状況や更新時期は。

答 市有施設のLED化率は、5年7月末現在で約45%となっている。今後は、国の交付金活用やリース方式の導入等、施設ごとに最適な手法で計画的にLED化を進めていく。

教育の諸課題

問 大阪万博会場の大阪・夢洲1区は6年3月に爆発事故が発生し心配だが、市内の小中学校で修学旅行先に大阪万博を計画しているところは。

答 中学校5校が旅行先として選択している。

問 磐田南幼稚園と長野幼稚園の統合・再築の具体的内容と今後のスケジュールは。

答 園児数はこの10年間で大きく減少している。今後は、磐田南幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行状況や園児数の推移を注視するとともに、関係者との継続的な対話を通じてさらに検討を進めていく。

環境にやさしいまちづくり

問 飼い主のいない猫の不妊去勢手術の実施を目的とした猫の捕獲に限り、猫の捕獲器の貸出しをすることの見解は。

答 7年度の当初から貸出しができるよう、現在準備を進めている。

問 ごみ袋におけるCO2削減の取組は。

答 環境に配慮したごみ袋の導入は、多角的な観点を踏まえ、他自治体の事例を参考に調査・研究していく。



ていきたい。少し長い目で見たい効果や持続性を考え、導入に向け検討している。

公立園の給食

問 民間と連携した地産地消の実証実験をする考えは。

答 生産者等と連携し、どのような取組が可能か、地産地消を促進するにはどのようなシステムを構築すべきか等を研究していきたい。

問 有機米導入の現状と課題、将来展望は。

答 現時点では、市内の公立園で有機米は使用していない。課題は価格と安定供給であり、持続可能なスキームづくりについて、関係機関と研究していく。1歩でも2歩でも前に進んでいくよう、いろいろなお考えを聞いていきたい。

未来につなぐ磐田の環境について／みんなを守る磐田の防災について



問
答



市民と創る磐田 鈴木 弥栄子 議員

未来につなぐ磐田の環境

問 本市の海洋プラスチックごみ削減に向けた取組は。

答 ごみの分別や適正処理に関する啓発、環境美化統一行動などを行っている。また、渚の交流館に海岸ごみの収集拠点、渚のクリーンボックスを設置し、ボランティアや来訪者等がごみ拾いをしやすい環境づくりも進めている。

問 人工芝の安全性が確立されるまでは、人工芝以外のものに変わっていくことが必要と考える見解は。

答 環境に影響を与えない人工芝の開発情報を注視していく。人工芝の張り替え時期を迎える施設では、必要性を検討し、不要なら撤去する。必要なら環境に配慮したものを採用し、流出防止対策も条件にしたい。

みんなを守る磐田の防災

問 内水氾濫及び中小河川ハザードマップ作成の進捗は。

答 内水氾濫は、下水道事業区域において、内水浸水想定区域図を作成中で、8年度中



に公開する。中小河川は、県が対象河川の浸水想定区域を指定後、7年度に公開する予定である。

問 浸水想定区域にある指定緊急避難場所の防災倉庫の数と浸水しない場所への設置の考えは。

答 洪水の指定緊急避難場所36か所のうち、23か所の防災倉庫が浸水するおそれがある。洪水時に備蓄資機材を浸水被害から防ぐことは重要であり、既に一部の資機材は、施設の2階以上へ移設をしているが、全ての資機材を移すことはスペースに限りがあり難しい。今後、立地状況を確認し、災害ごとに有効活用できる資機材を整理し、配置場所を検討する。

上下水道・道路インフラについて／救命率向上とバイスタンダーについて



問
答



公明党磐田 江塚 学 議員

上下水道・道路インフラ

問 人工衛星とAIを活用した水道管の漏水調査の成果は。

答 漏水の発見率が従来の調査方法に比べ、管路延長10キロメートル当たり1・8件に対し、12件に向上しており、早期発見につながっている。

問 下水道管が原因の道路陥没事故を防ぐため、人工衛星や高解像度センサー等を活用した調査を実施する考えは。

答 現時点では研究段階にあるため、技術開発が進み調査手法が確立された際には、活用を検討していきたい。

問 廃ペットボトルを利用した高耐久アスファルトのこれまでの取組状況は。

答 2年度に自治体公道舗装で初めて使用して以降、小学校の中庭や市道の一部区間でも実証を継続している。

救命率向上とバイスタンダー

問 救命率向上のためのAEDの設置場所の広報と、オレンジ色三角巾の配備の考えは。

答 AEDの設置場所をより



へ掲載するなど、改善を図りたい。オレンジ色の三角巾は配備していないが、効果について情報収集を進めていく。

問 バイスタンダーへの感謝を伝えるとともに、心的ストレス軽減のための相談窓口などを掲載した「感謝カード」等の導入の考えは。

答 現在、感謝状を贈呈しているが、今後は相談窓口の設置等について情報収集し、心理的不安の軽減に努めたい。

問 映像通報システム（Live119）導入のメリットと市民への啓発の考えは。

答 現況をリアルタイムで把握でき、初期対応の説明や救命率の向上が期待できる。市民へは、パンフレットや広報用映像での啓発を進めていく。

災害に強いまちづくりについて／地域公共交通の充実策について



問
答



日本共産党磐田市議団 根津 康広 議員

災害に強いまちづくり

問 流域治水対策の現状と課題について伺う。

答 河川改修に加え、調整池整備やポンプ場の増強など、水災害対策プランなどに基づき対策を進めている。浚渫や堤防の嵩上げなど、実施済みの対策もあるが、整備に時間を要するものもあり、その間の減災対策が課題となる。

問 上下水道施設の耐震化について、現状と課題、今後の対策を伺う。

答 6年度末耐震化率は、上下水道管25・4%、下水道管64・1%となる見込みである。課題は、管路更新に長い期間を要することや、多額の費用がかかることと考えている。今後も優先順位を設定する中で計画的に耐震化を進めていく。

問 下水道管の調査・点検、補強や対策について伺う。

答 国の指針に基づき、管の重要度を定め、定期点検を実施している。また、過去の点検などで軽度の損傷や劣化が確認された管の内側に、塩化ビニール製や樹脂製の管を入



れる更生工法により、健全化、長寿命化を図っている。

地域公共交通の充実策

問 デマンド型乗合タクシーの改善策について伺う。

答 行き先や時間帯の追加、Web予約の拡充など、さらなる利便性の向上に向け取り組んでいきたい。

問 御厨駅、市民文化会館の交通機関整備の検討状況と今後の施策について伺う。

答 想定される利用者層へのヒアリングでは、現状、定時・定路線の路線バス形態での導入ができるほどの需要が想定できなかった。今後は地域公共交通計画に示したスケジュールに従い、9年度までに方向性を示していきたい。

一般質問用語解説



※1 スフィア基準 (P12)

正式名称は「人道憲章と人道対応に関する最低基準」といい、災害や紛争の被災者が尊厳ある生活を営むための、人道支援活動における最低基準のことです。

※2 ガバメントクラウドファンディング (P12)

自治体がふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディングのことです。「クラウドファンディング」とは、集まった寄附金の使い道を明確にし、使いたい道や想いに共感した方から寄附を募る仕組みです。

※3 ソーシャル・インパクト・ボンド (P12)

行政や民間事業者、資金提供者などが連携して社会問題の解決を目指す行政手法で、社会課題を解決するための公共事業を、民間からの資金を集めてサービス提供事業者に委託する仕組みのことです。

※4 いわたスポーツプラットフォーム (P13)

スポーツの持つ力を生かし地域課題、社会課題の解決に取り組むことにより、「スポーツ」を核にしたまちづくりを実施し、スポーツという共通のテーマを通じてスポーツチーム・企業・金融機関・団体・大学・行政などが互いにつながり、新たな価値を創造するために、情報を共有・連携する場のことです。

※5 ライドシェア (P13)

一般ドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶサービスのことです。

※6 バイスタンダー (P14)

救急現場に居合わせた人のことです。

※7 映像通報システム (Live119) (P14)

スマートフォンから119番通報の際に現場の映像を送信できるシステムです。

1/9 議員研修開催

市議会では、スポーツチームを活かしたまちづくりへの理解のため、議員研修を開催しました。

プロスポーツチームの経営戦略や地域との関係性などについて、静岡ブルーレヴズ株式会社代表取締役社長の山谷拓志氏に講演いただきました。

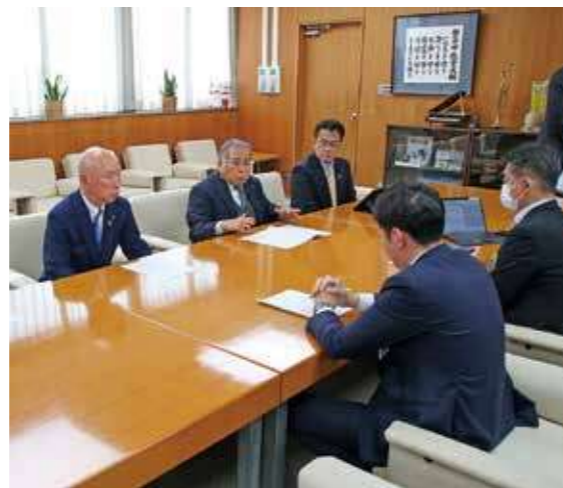
スポーツ施設のあるべき姿やまちづくりのマインドセットなどの説明を受け、スポーツチームを活かしたまちづくりについて理解を深めました。



1/24 防災・減災に関する提言書を市長へ提出

市議会では、より一層の安全・安心な地域の実現に向け、本市の防災・減災の取組が確実に前進することを強く願い、総務委員会の所管事務調査において「防災・減災について」調査・研究、協議を行ってきました。

その結果を取りまとめ、市長に提出しました。



1/30 中学校部活動の地域移行に関する提言書を市長へ提出

市議会では、子どもたちが「たくましい磐田人」に育つことを強く願い、民生教育委員会の所管事務調査において「学校における課外活動について」をテーマとし、「中学校部活動の地域移行について」調査研究を重ねてきました。

その結果を取りまとめ、市長に提出しました。



2/3 民生教育委員会がシニアクラブ磐田市と懇談

民生教育委員会は、シニアクラブ磐田市と懇談会を実施しました。

懇談会では、「健康・友愛・奉仕」をスローガンに、仲間、生きがい、健康、地域づくりを目指し、幅広い活動状況や課題等について報告を受けた後、意見交換を行いました。



市議会にご意見をお寄せください
ご意見ポストをご紹介します

市議会では、市政の課題全般に対処するため、市民の皆さんのご意見等を聞く広聴活動に取り組んでいます。今回は、広聴活動のうち、市議会ご意見ポストについてご紹介します。

「ご意見ポスト」は、磐田市役所本庁舎1階と5階にあります。また、市議会ホームページからお寄せいただくこともできます。

本庁舎5階のご意見ポスト



備え付けの記入用紙にご意見等を記入してご意見ポストに投入してください

市議会ホームページのご意見ポスト



市議会ホームページの「ご意見ポスト」をクリックするとご意見ポストの入力フォームが表示されます



2次元コードを読み込んで入力フォームが表示されます

いただいたご意見につきましては、希望される方には回答をいたします。ご意見は、全議員で共有して今後の議会活動に役立てるとともに、市政に関する内容は、市の担当課に伝えます。

こんなご意見をいただきました

ここでは、6年4月から7年3月までにいただいたご意見の一部を抜粋してご紹介します。

磐田市議会も、核兵器廃絶平和都市宣言に矛盾することがないように、恥じることはないよう、意見書決議を速やかに行ってください。

見付の中川沿い鯉のぼりを見に行きました。手すりが低く、2歳児では転落しそうな怖さがありました。もし可能でしたら転落防止ネットなどがあれば安心して鯉のぼりを見られると思います。いわた大祭りや裸祭りがおこなわれる場所でもありますので、ぜひご検討ください。

医療費の支払いを抑える「高額療養費制度」の自己負担引き上げ撤回を国に求める議員提出の意見書案を全会一致で可決したという報道を見ました。磐田市議会でも議事にあげてください。

市営住宅に公園があるが、住民の高齢化が進み、公園内の草取りが困難です。

保育園の入園にあたって市の規定では、「育児休業を取得されている方は、育児休業が終了し仕事復帰をする月の1日からの申込みが可能です。」とあります。可能ならば、事情がある場合、仕事復帰をする前の月から入園できるようにしていただくと、大変助かります。

市内で発生した猫の多頭飼育崩壊現場に携わっています。多頭飼育崩壊の現場は全国的にも増えていきますし、市内でも疑わしい家が見つかり、今後ますます増えていくと思われます。こういうことが起こらないように抜本的な対策が必要ではないでしょうか。

保育士さんたちが不足しているのも分かっていますので、何か他にもいい方法があるかと思っておりますので、皆さんの話題にいただくと幸いです。

燃えないゴミ袋の特大を作ってほしいです。容器などでかさばるため、すぐに溜まってしまいます。

ご意見ありがとうございました。



請願・陳情とは

市政などについて、直接、議会に要望できる制度として「請願」「陳情」があります。これらは市民に限らず、どなたでも提出することができます。

【請願】

地方自治法及び市議会会議規則に定められており、市議会議員の紹介が必要です。

【陳情】

市議会議員の紹介は不要です。

【審査等】

所管する委員会に付託され、その内容を慎重に審査した後、本会議（陳情は全員協議会）に報告され採択・不採択が決定されます。郵便による陳情は議長預かりとなります。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。または議会事務局にお問い合わせください。



請願・陳情の詳細は、左のコードを読み込み、ご覧いただけます。

スマートフォン等からも議会を視聴できます

パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも、本会議、予算決算委員会の模様を視聴することができます。生中継・録画中継を配信しておりますのでぜひご覧ください。



クリック

磐田市議会 インターネット中継 検索

議会にご意見をお寄せください

市民の皆様の声をお聞きするため、「ご意見ポスト」を本庁舎1階と5階に設置しています。市議会へのご意見・ご要望をお寄せください。



左のコードを読み込み、ご意見を入力できます。



政務活動費の適正な使用・透明性の確保に努めています

会派は、議員の調査研究、その他の活動に役立てるための必要な経費の一部として、政務活動費の交付を受けることができます。

政務活動費の適正な使用及び透明性の確保のため、会派は経理責任者を設置し、年度終了時に議長あてに収支報告書・金銭出納簿・領収書等を提出しています。

また、議会事務局においても、すべての提出書類の内容を確認しています。

なお、会派別の収入支出状況・領収書の写し等は市議会ホームページで公開しています。



請願及び陳情の処理状況等についてお知らせします

3年4月から7年3月までに市議会に提出された請願と陳情について、議決結果と処理状況をお知らせします。

●請願

年	件名	結果	処理状況等
5	唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書に関する請願	採択	5年10月13日、「唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書」を可決し、国に送付した。
5	小・中学校給食費の無料化を求める請願	不採択	
6	パレスチナでの即時停戦を求める意見書の採択についての請願	採択	6年7月11日、「パレスチナでの即時停戦を求める意見書」を可決し、国に送付した。

●陳情

年	件名	結果	処理状況等
3	まん延防止等重点措置・緊急事態措置に伴う支援制度に関する陳情について	不採択	
4	今之浦公園へのドッグランまたはペット専用エリアの設備建設に関する陳情	不採択	
5	磐田市死亡者数増加の公表、周知に関する陳情	不採択	
5	頻発化・激甚化する線状降水帯の発生に伴う自然災害への対応強化を求める意見書	採択	5年10月13日、「頻発化・激甚化する線状降水帯の発生に伴う自然災害への対応強化を求める意見書」を可決し、国に送付した。
6	「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の採択を求める陳情	採択	6年7月11日、「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」を可決し、国に送付した。
7	「公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書」採択に関する陳情	採択	7年3月24日、「公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書」を可決し、国に送付した。

以下の5件については、議会運営委員会で意見書等を提出するかどうかを審査し、その結果いずれも意見書等の提出には至りませんでした。

年	件名
4	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情
5	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
5	現行の健康保険証の存続を求める意見書
6	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
6	訪問介護の基本報酬引下げの撤回と見直しを求める意見書（案）の提出について

審議結果

■全会一致により可決・承認・同意された議案

- (1) 専決処分（6年度一般会計補正予算（第12号））
- (2) 6年度一般会計補正予算（第13号）
- (3) // 一般会計補正予算（第14号）
- (4) // 国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- (5) // 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
- (6) // 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (7) // 病院事業会計補正予算（第3号）
- (8) 7年度駐車場事業特別会計予算
- (9) // 後期高齢者医療事業特別会計予算
- (10) // 介護保険事業特別会計予算
- (11) // 広瀬財産区特別会計予算
- (12) // 岩室財産区特別会計予算
- (13) // 虫生財産区特別会計予算
- (14) // 万瀬財産区特別会計予算
- (15) // 水道事業会計予算
- (16) // 下水道事業会計予算
- (17) // 病院事業会計予算
- (18) 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- (19) 市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定
- (20) こどもの権利と笑顔約束条例の制定
- (21) 学校教育施設整備基金条例の制定
- (22) 市職員の給与に関する条例等の一部改正
- (23) 市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- (24) 手数料条例の一部改正
- (25) 税条例の一部改正

- (26) 地域包括支援センターの運営及び職員の基準を定める条例の一部改正
- (27) 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- (28) 下水道条例の一部改正
- (29) 市立学校設置条例の一部改正
- (30) 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正
- (31) 市立総合病院の使用料及び手数料条例の一部改正
- (32) 財産の処分
- (33) 財産の取得の変更
- (34) 財産の取得の変更
- (35) 市道の路線認定
- (36) 市道の路線変更
- (37) 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- (38) 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- (39) 農業委員会の委員任命
- (40) 人権擁護委員の候補者推薦
- (41) 市議会基本条例の一部改正
- (42) 市議会会議規則の一部改正
- (43) 市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正
- (44) 市議会政務活動費の交付に関する規則の一部改正
- (45) 市議会個人情報保護条例の一部改正
- (46) 公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書

■意見の分かれた議案

件名	会派名	志政会 8人	せいわ会 6人	新磐田 3人	日本共産党 磐田市議団 2人	公明党 磐田 2人	市民と創る 磐田 2人	愛和 1人	磐田の底力 1人
7年度一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	×
7年度国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	×	○	○	○	○

※公明党磐田の会派人数は2人ですが、採決は鈴木喜文議長を除きます。

○：賛成 ×：反対

■その他

- (1) 市議会議員の派遣

5月臨時会の予定

（5月12日～5月19日）

日	月	火	水	木	金	土
4/27	28	29	30	5/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 (議案上程ほか)					
18	19	20	21	22	23	24
	本会議 (採決)					

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。

聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局（電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845）までお問い合わせください。

表紙の写真

磐田東高等学校 2年生
やまなか りお
写真部 山中 理央 さん

この写真は、友だちと校舎のテラスで撮った写真です。夕方に入る少し前で、影が伸び、オレンジ色の光に照らされているテラスの美しさにより心が穏やかになったので、このような写真を撮りました。高校生らしく、友だちと和気あいあいと過ごす日々を大事にしながら、これからも高校生活を楽しんでいきたいです。



第100号、今期最後の「いわた羅針盤」です。分かりやすい情報発信と親しみやすさを目指し、子どもたちの議会への興味喚起にも努めてきました。高校生が撮影した写真を表紙に採用し、小学生の議場見学や模擬議会も実施しました。今後も市民との対話を大切に、より開かれた議会を目指していきます。

【広報広聴委員会】

- 委員 長：永田隆幸
- 副委員長：加藤公人
- 委員：山下千賀子、江塚学、小柳貴臣、松野正比呂、高梨俊弘

次回は7月1日発行予定です。